

[ヴァルダナ朝とインド混乱期]

6世紀…グプタ朝がエフタルの侵攻で滅亡

7世紀前半…**ハルシャ=ヴァルダナ**(戒日王)が**ヴァルダナ朝**を建てる。

**ヴァルダナ朝** 都：カナウジ 建国：ハルシャ=ヴァルダナ

7世紀…ハルシャ=ヴァルダナは王朝を建てたあと、封建制を利用して統治

・唐の僧：玄奘がインドに陸路で来訪。ナーランダー僧院で仏教を学んだのちに『大東西域記』を記す。

⇒ハルシャ=ヴァルダナの死後、王国は崩壊(7世紀半ば)

以後、多くの王国が興っては滅亡(ラージプート時代)

[南インドの歴史]

インダス文明が滅びた後、ドラヴィダ系民族は南インドへ移動

→前3世紀…デカン高原にサータヴァーハナ朝、タミル地方に**チョーラ朝**、  
インド南端にパーンディア朝が成立。

→後3世紀…サータヴァーハナ朝が滅び、チョーラ朝は一時衰退、パッラヴァ朝  
が勢力を強める。

→6世紀～8世紀…パッラヴァ朝とチャールキア朝が対立する中、バクティ信仰  
が盛んになる。

→10世紀…チョーラ朝がラージャラージャ王とラージェンドラ王の  
もとで全盛期。

→13世紀…パーンディア朝がチョーラ朝を滅ぼす。

→14世紀…ハルジー朝がパーンディア朝を滅ぼす。